

買物公園エリア未来ビジョン

ver.1.0

買物公園エリアプラットフォーム

令和6年3月



目次



01 未来ビジョンとは	01
02 将来像を考えるとときの視点	06
03 目指す将来像と取組イメージ	12
04 ゾーンごとの将来イメージ	15
05 推進体制	24
06 実現に向けた進め方	25

01

未来ビジョンとは

買物公園エリア未来ビジョンでは、
将来の買物公園エリアの姿とその実現
に向けた取組が示されています。

本章では、未来ビジョン策定の背景
や目的について説明します。





02

未来像を考
えるとき
の視点

買物公園エリア未来ビジョンって何？

03

目指す
未来像と
取組イメ
ージ

04

ゾーンの
未来イメ
ージ

05

推進体
制

06

実現に
向けた
進め方

買物公園は、旭川市の中心市街地にある全国初の恒久的な歩行者専用道路です。通りの両側には商業を中心とした様々な店舗や施設が軒を連ね、戦前から旭川のメインストリートとして賑わいを見せていました。現在は、人口の減少やネット通販の拡大などに伴うライフスタイルの変化、沿道施設の老朽化に伴う空き店舗・空き地などの増加、大型店舗の撤退などにより、日常的に買物公園エリアに訪れたいという気持ちになかなかつながっていない状況にあります。

しかし、買物公園エリアでは現在でも様々な活動が行われており、今後の活用が期待できる公共空間がたくさんあります。

買物公園エリアがこれから日常的に訪れる場所になる、また憩える場所となるためには、活動するわたしたちが同じ目標に向かい、取組を進めていく必要があります。

買物公園エリア未来ビジョンは、「まちの顔」である買物公園を軸としたこのエリアで、活動するわたしたちが同じ目標を持ち、今後のまちづくりの方向性や将来像実現に向けた取組を描いたものです。

買物公園エリア



01 未来ビジョンとは



02

未来像を考
えるときの視
点

買物公園エリアの未来像がわかる！

みんなで進める
取組の考え方や方向性がわかる！

03

目指す未来
像と取組イメ
ージ

買物公園エリア未来ビジョンでわかることは？

04

ゾーンの
未来イメー
ジ

05

推進
体制

06

実現に向
けた進め
方

未来像の実現に向けたみんなの役割
(誰が・何を・どのようにする)がわかる！

01 未来ビジョンとは



02

未来像を
考える
視点

誰にとっての未来ビジョン？

03

目指す
未来像と
組織
イメージ

→ 買物公園エリアで活動／利用するわたしたちです！

04

ゾーンごとの
未来
イメージ

買物公園エリアではエリアに関わる様々な立場の人で構成する「買物公園エリアプラットフォーム」を設立し、未来ビジョンを策定することで、同じ目標に向かって、活動を推進していきます。

この実現に向けては、作成に関わったメンバーだけでなく、買物公園エリアで活動する、もしくは利用するわたしたちの想いや行動が必要です。またその受け皿となる、買物公園エリアはこれから徐々に変わっていくポテンシャルも十分に持っています。

ぜひ、あなたの「同じ想いの人とつながりたい」、「将来像の実現に向けて活動したい」という想いを未来ビジョンで掲げる目標（将来像）に向けて、「ライトな変化、アップデート」しながら、連携して取り組んで行きましょう！



－ステップ１－

未来ビジョンを読んでみる！

－ステップ２－

エリアに興味・関心を持つ！

－ステップ３－

エリアの仲間とつながる！

－ステップ４－

気軽に取り組
みチャレンジ
してみる！

居心地よく、過ごしたくなる
買物公園エリアの実現

05

推進
体制

06

実現
に向けた
進め方

未来ビジョンを実現するとどんな未来になる？

お店をやっている人
にとってどんな未来になる？



お店同士がつながり
魅力を高めていく場所

既にお店をやっている人、
これから出店する人、みん
なでエリアの魅力を高め消
費につながる場所に

住んでいる人
にとってどんな未来になる？



お気に入り
が溢れる日常の居場所

便利で自分の庭のように
毎日出かけたくなる場所に

何か始めたい人
にとってどんな未来になる？



チャレンジを
受け入れてくれる場所

空き店舗や空き地などを活用
して、新たな活動が積極的に
生まれていく場所に

まちに来る人
にとってどんな未来になる？



まちとつながれる
サードプレイス

ひとりでも、家族や友達と
もゆっくり過ごせて、来る
たびに、新たな発見や誰か
との出会いがある場所に

01 未来ビジョンとは



02

未来像を
考える
ときの
視点

未来ビジョンを実現するとどんな1日を過ごせる？

03

目指す
未来像と
組織
イメージ

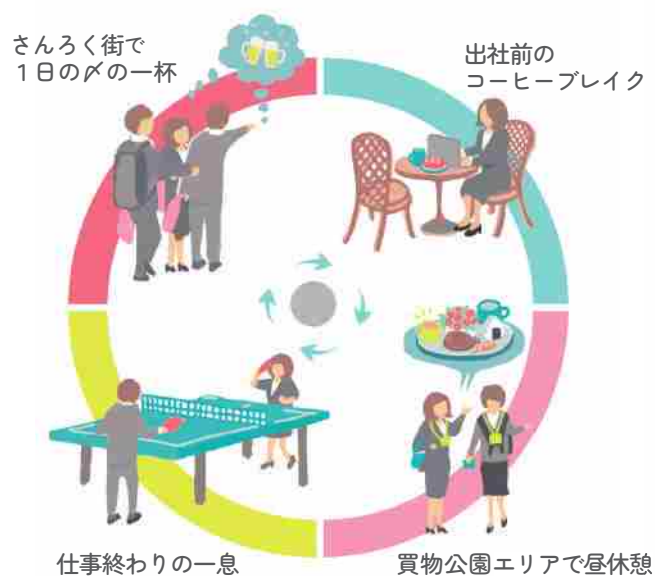
買物公園エリアが、働く人の休憩や学生の放課後、家族の1日の中のちょっとした時間を過ごす場となり、みんなの暮らしの一部になる。



04

ゾーンごとの
未来イメージ

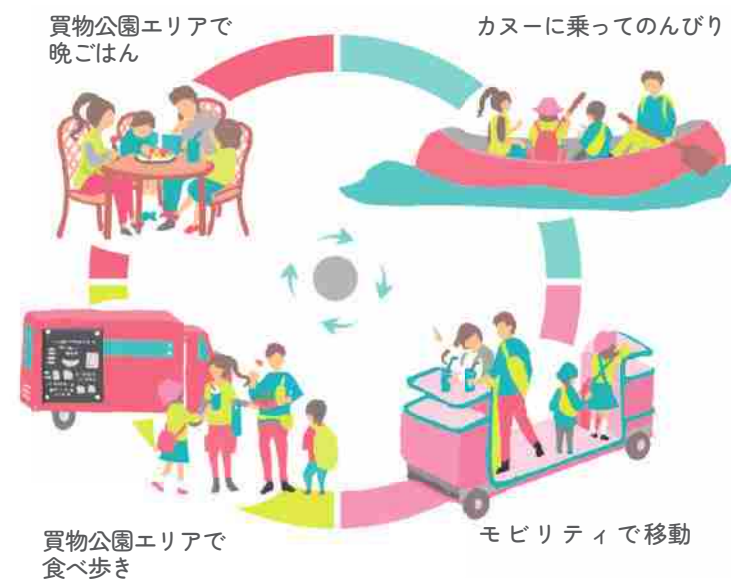
エリア周辺で働く人



学生



休日の家族連れ



05

推進
体制

06

実現
に向けた
方

02

将来像を考えるときの視点

買物公園エリア未来ビジョンの将来像を考える上で、これまでの経緯の整理や課題分析を行いました。

本章では、将来像を考えるときの視点について説明します。



02 未来像を考えるときの視点



03

目指す未来像と
取組イメージ

04

ゾーンの
未来イメージ

05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

買物公園エリアの特徴は？

歩行者専用道路として50年以上の歴史を持つ買物公園があり、昔から続くものや新しいものが共存する「旭川の顔」ともいえるエリアです。

商業施設、専門店、飲食店やオフィスも集積しているほか、様々な娯楽を楽しめる、ゆったりとくつろげる空間として、みなさんに親しまれ続けています。

まち＝買物公園エリア

- ≫ 「まち＝買物公園エリア」として親しまれ、旭川の中心として広く認知されています

使える公共空間

- ≫ 買物公園エリアを利用したイベントが多数開催されています
- ≫ テラスセットが立ち並びます

繁華街や飲食店

- ≫ 道北最大の繁華街「さんろく街」や、ふらっと立ち寄りたくなる飲食店小路には店舗がたくさん建ち並んでいます
- ≫ 新規事業者のチャレンジを受け入れる旭川はれて屋台村もあります

多様な世代が楽しめる施設

- ≫ もりもりパークやICTパークなど子どもや若者が楽しめる施設があります
- ≫ まちなかぶんか小屋といった文化でつながれる施設があります

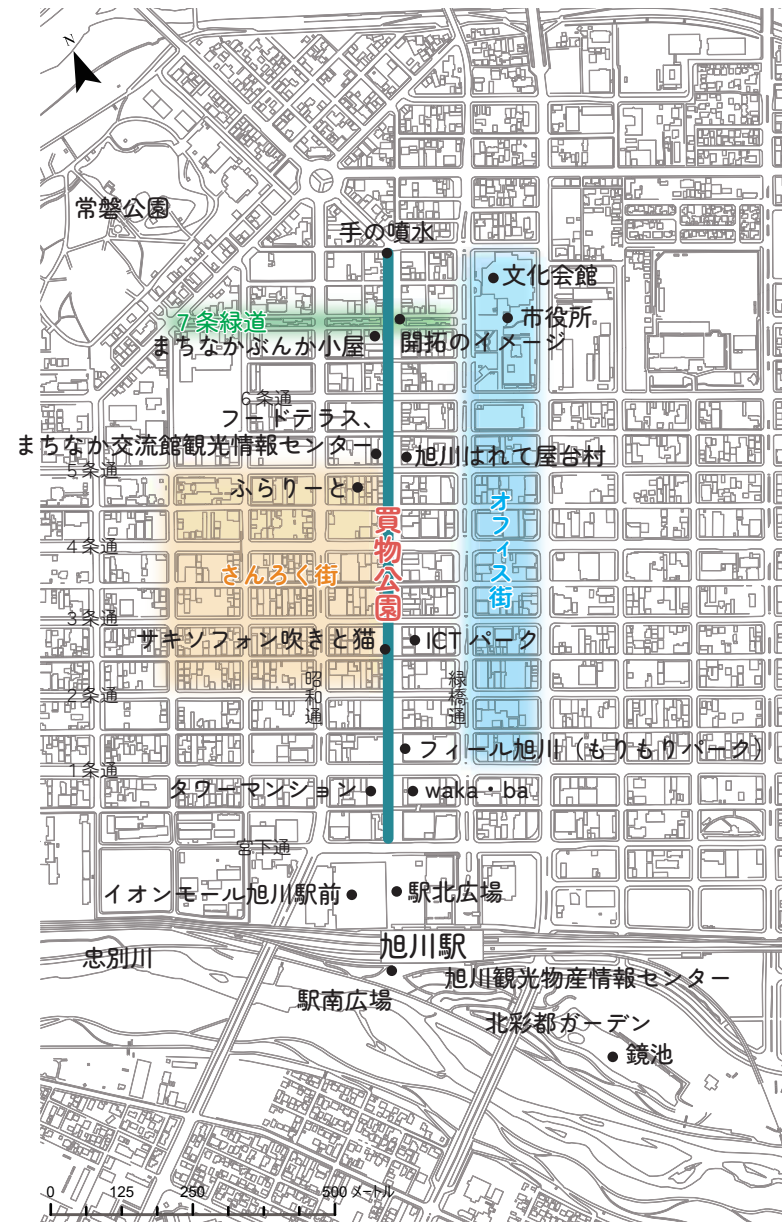
オフィス街

- ≫ オフィスビルや市役所等の施設が建ち並んでいます

アート・みどりをを感じる空間

- ≫ 駅の南側に出ると川が流れ、豊かなみどりが広がっています
- ≫ いくつかの彫刻像が並んでいて、歩きながらアートを楽しめます
- ≫ 市役所と常磐公園を結ぶ豊かな並木道・7条緑道があります

特性・資源 MAP



02 将来像を考えるときの視点



03

目指す将来像と
組織イメージ

04

ゾーンごとの
将来イメージ

05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

買物公園エリアの歴史



1890 年：開村

1898 年：旭川駅が開業

1901 年：第七師団移駐 旭川駅から第七師団へと続く道は、「師団通」と呼ばれました。

1902 年：旭川町制施行

1912 年：常磐公園開園

1922 年：旭川市制施行

1945 年：師団通から平和通へ

1969 年：社会実験の実施

8月に12日間の車両通行止が許可され、当時としては画期的な社会実験が実施されました。

2002 年：買物公園リニューアル

リニューアル工事を経て、両側にロードヒーティングが施され、花壇や遊具などが撤去されるとともに、S字道路が直線になり、イベントで人が集まりやすい現在の姿になりました。

1972 年：日本で初めての恒久的歩行者専用道路として、平和通買物公園誕生

交通事故の多さや札幌商圏拡大に対応するため、「車社会からの開放」と「自然との対話」による「人間性の回復」を目的として、恒久的な歩行者専用道路となりました。

2011 年：4代目旭川駅舎開業

2022 年：平和通買物公園50周年、市制施行100年

2024 年：未来ビジョン策定

02 将来像を考えるときの視点



全国に先駆け進む「ウォーカブルなまち」旭川

恒久的な歩行者専用道路である買物公園

買物公園は今から約 50 年前に誕生した全国初の恒久的な歩行者専用道路です。市と地元商店街が密に連携を図り、様々な人の力による社会実験を経て、車中心の道から「人のための道」が実現しました。

先進的な取組でまちづくりを進めてきた買物公園エリアですが、社会情勢の変化やまちづくりの課題を踏まえ、この先のあるべき姿を考える機会が今来ています。



出典：わたしたちの買物公園 旭川平和通買物公園の 50 年のあゆみ

当時の社会実験の様子

ちなみに、他の地域では？

国では“WE DO※”に賛同する都市を「ウォーカブル推進都市」として募集し、国内外の先進事例の情報共有や今後の政策づくりに向けた意見交換を行うことで、全国で「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指した取組を進めています。2024 年 2 月末現在で 370 都市が賛同していて、旭川市もその一員です。

※WE DO は『Walkble Eyelevel Diversity Open』の略称であり、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりのキーワードとして、2019 年 6 月に国土交通省開催の「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」において、示されたものです。

02 将来像を考えるときの視点

03
目指す将来像と
取組イメージ

04
ゾーンごとの
将来イメージ

05
推進体制

06
実現に向けた
進め方

買物公園に訪れる人たちの声から見える課題

訪れた時の印象

「歩きやすい」歩行空間となっているが、
沿道・周辺に存在する**魅力的な個人店**
や**スポットの情報**があまり知られていない。

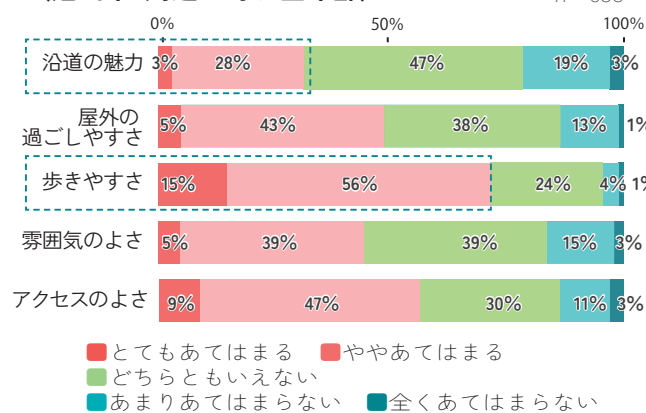
来街時の移動手段

エリアに「よく訪れる」人は公共交通利用
者が多く、移動手段が、来街機会や立ち寄
りの頻度に影響している。

訪れるタイミング

買物公園に訪れるタイミングは、「駅やその
周辺に来た時に寄る」ことが4割と最も多
い。若年層は「通勤・通学の通り道で立ち
寄る」や「散歩する場、遊び場などとして
いる」が他の世代と比べて割合が多い。

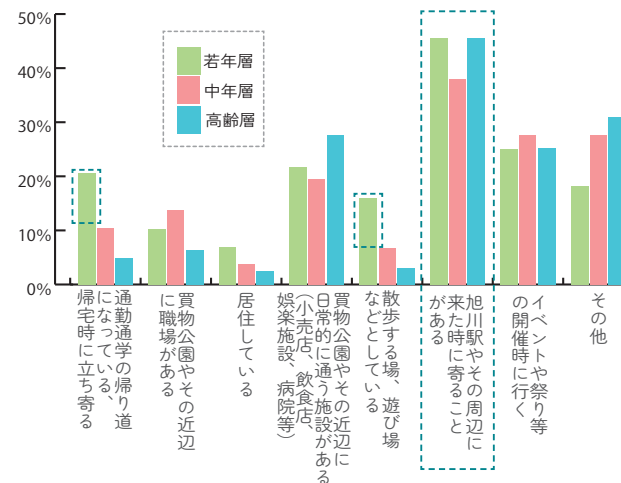
◆買物公園エリアを訪れたときに感じた印象 (旭川市・周辺8町 / 全年齢)



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

◆買物公園エリアへ訪れるタイミング (旭川市・周辺8町 / 全年齢)

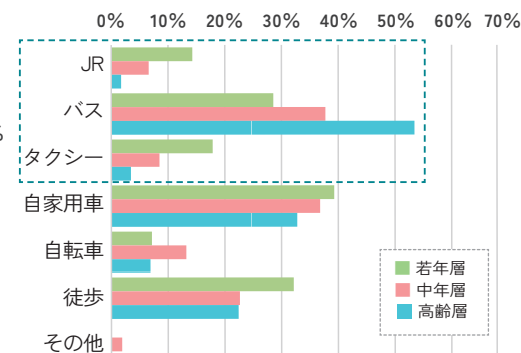
若年層：n=88/ 中年層：n=343/ 高齢層：n=207



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

◆買物公園エリアに「よく訪れる」人の 来場時の移動手段

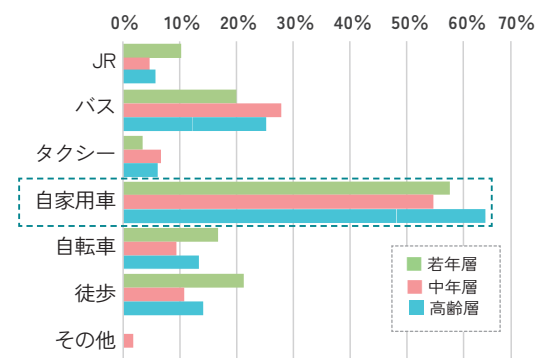
若年層：n=28/ 中年層：n=106/ 高齢層：n=58



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

◆買物公園エリアに「たまに訪れる」人の 来場時の移動手段

若年層：n=60/ 中年層：n=237/ 高齢層：n=149



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

02 将来像を考えるときの視点

03
目指す将来像と
取組イメージ

04
ゾーンごとの
将来イメージ

05
推進体制

06
実現に向けた
進め方



買物公園エリアのまちの状況から見える課題

沿道建物 1F (グランドレベル) の実態

買物公園の沿道に面する駐車場・空き店舗は道路延長の約3割を占めているとともに、エリア全体に点在しており、沿道の魅力の評価は高くない。

買物公園の利活用方法・場所

利用申請先が多く、手間がかかり、何ができるか、どこを活用できるのか分からない。新規のイベントや取組も実施しにくい。

買物公園の使われ方

かつては見られた学生や子どもの滞在や活動が駅周辺に集中している。子育て世代向けの設備も少ない。

◆買物公園エリア沿道建物 1F の実態



凡例：1階実態

- 空きテナント、空きビル
- 解体・解体中
- P 駐車場
- 建設中

◆沿道に対する延長距離

買物公園沿道	未利用地延長 A	道路延長 B	買物公園延長 C	未利用地が面する割合 A/(C-B)
東側	293m	248m	1,045m	37%
西側	222m			28%
東側・西側	515m	上記×2	上記×2	32%

出典：2023 年度 8 月末時点調査結果

◆買物公園エリアでのフィールドワーク



フィールドワーク時の意見

新規のイベント
がやりにくい...

授乳室が
ないなあ...

02 未来像を考えるときの視点



買物公園エリア内の人の動きから見える課題

移動軌跡

エリア内の回遊状況をみると、**駅前エリア**の滞在者は移動の広がり少なく、他の滞在者も**隣あう街区までの回遊に留まる**傾向にある。特に駅前では、隣接する街区に留まる傾向が強い。

滞在時間

来訪者の滞在時間は、4条以北・以南ともに、**1時間未満が約6割**を占めている。

通行量

エリア内の通行量をみると、イベントを除き、**4・6条では冬季に減少**する。ただし、駅に近い断面では**夏と冬で差はあまりない**。

◆ 駅前エリア滞在者の移動軌跡

2022.7 全日の位置情報 (989,858 ログ)
※ 滞在時間が10分～5時間未満が対象



◆ 買物公園エリアにおける回遊割合

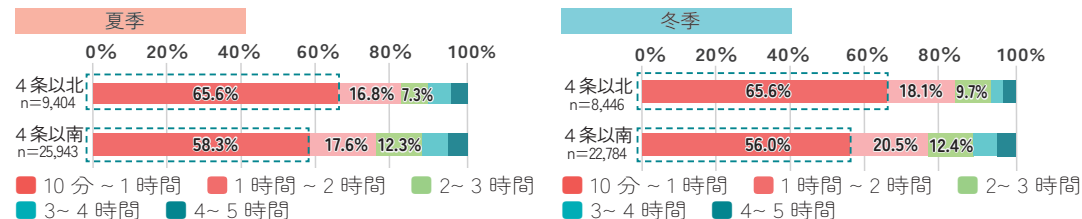
※ 合計3つ以上の区画を回遊するトリップを集計対象とした。
※ 5区画を回遊するトリップでは、サンプル数が少なくなるため4区画の回遊するトリップについて集計を行っている。



隣接する区画への回遊割合が高く、エリア全体への回遊が乏しい

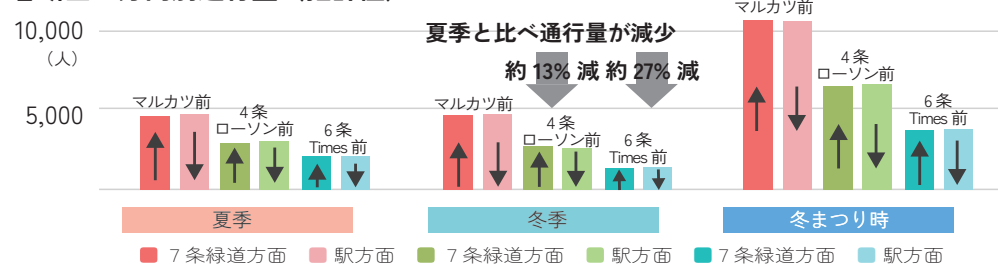
◆ 1回の来街での滞在時間割合 (4条通以南・以北別)

※ 日平均、かつ滞在時間が10分から5時間未満の割合のみ記載
※ 来街者の合計滞在時間を総滞在回数で除した平均滞在時間を集計



(夏季)2022年度7月、(冬季)2023年度2月 携帯電話位置情報データをもとに推計を実施

◆ 各断面の方向別通行量 (推計値)



(夏季)2022年度7月、(冬季)2023年度2月 携帯電話位置情報データをもとに推計を実施

03

目指す将来像と取組イメージ

本章では買物公園エリアの目指すべき将来像をイラストパースで示すとともに、想い描くエリア全体像と取組イメージについて説明します。



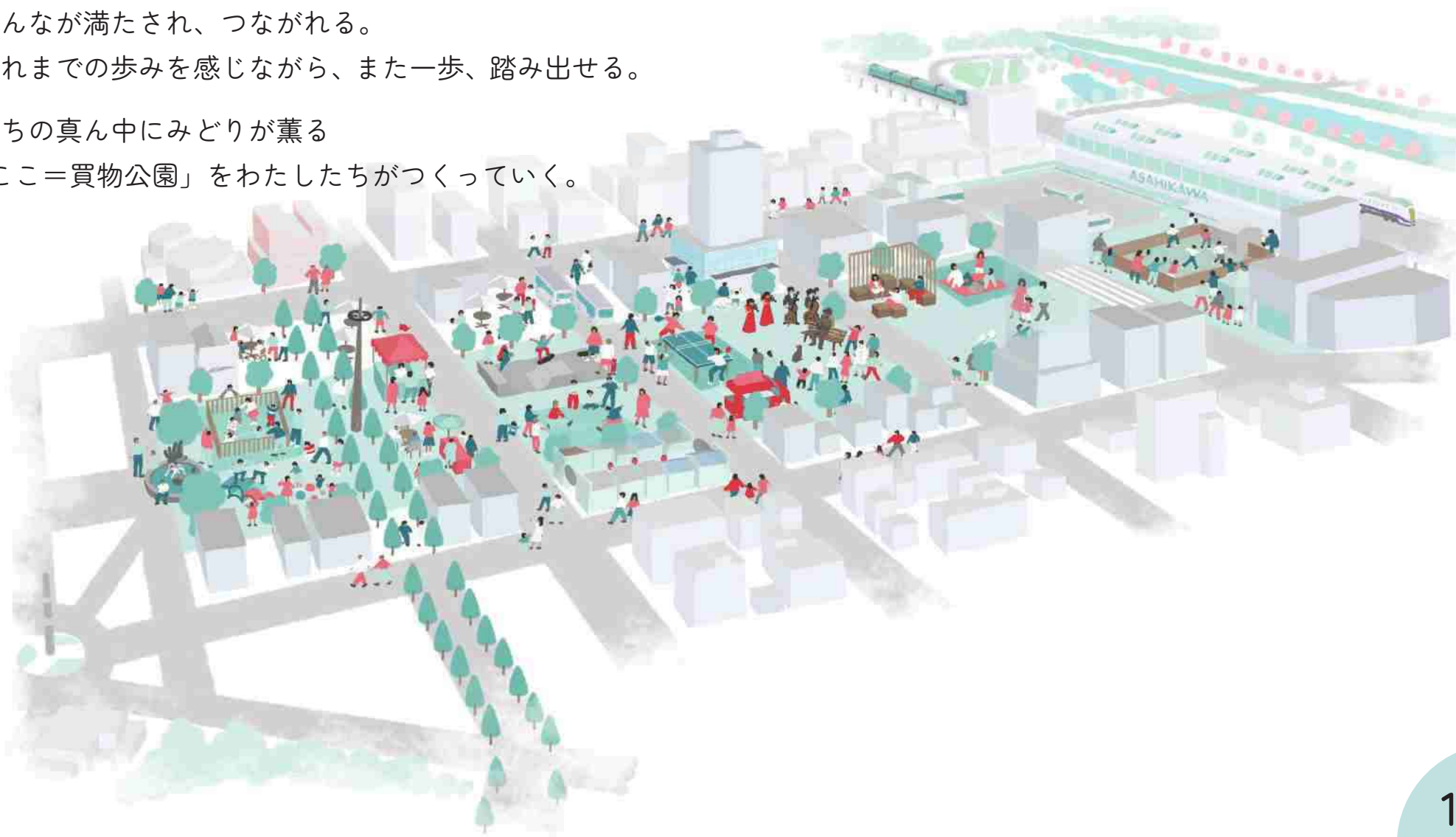
03 目指す将来像と取組イメージ



わたしの「毎日」がここにある

日常も非日常も、
ここで過ごすことが暮らしの一部となり、
みんなが満たされ、つながれる。
これまでの歩みを感じながら、また一步、踏み出せる。

まちの真ん中にみどりが薫る
「ここ＝買物公園」をわたしたちがつくっていく。



03 目指す将来像と取組イメージ



04

ゾーンごとの
将来イメージ

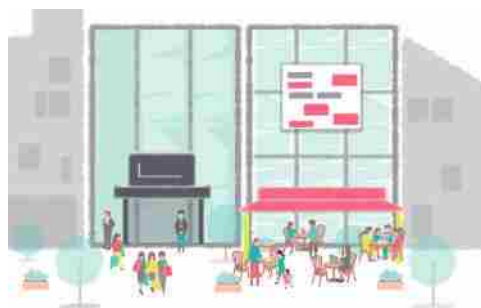
05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

実現したいエリア全体のイメージ



01

素敵な自分で
いられるエリア

歩行空間や沿道建物のグランドレベル、街並みなどに洗練されたデザインの視点を取り入れ、ここにいるだけでおしゃれに、素敵になれるエリアへ



02

行きたい・歩きたくなるエリア

買物公園エリアの効果的な情報発信や移動しやすいモビリティの導入により、目的があってもなくても、エリア全体に人が集まるエリアへ



03

やりたいが自由に
実現できるエリア

エリア内に点在する公共空間や沿道の空き店舗・空き地などを活用し、利用しやすい仕組みを考え、みんなのやりたいことが常に取り組み、つながれるエリアへ

03 目指す将来像と取組イメージ



あつたい姿の実現に向けた基本的な取組イメージ

Action 1 誰もが チャレンジできる場・仕組みづくり

- ①空き店舗・空き地などの活用促進
・空き店舗・空き地などの情報を共有し、活用できるフィールドを発掘することで、活用による多様な目的地を増やしていきます。
- ②公共空間の活用促進
・公共空間の利用申請手続きの簡素化を行います。
・誰もがチャレンジできて、新規出店しやすくなる仕組みづくりを行います。

Action 2 みんなとつながる 効果的な情報発信

- ①交通結節点での効果的な情報発信
・エリアの入口となる交通結節点を中心に、エリア全体のイベント情報やエリア内の魅力的な店舗等の情報を入手できるように、効果的な発信を行います。
- ②エリアの価値を高めるための情報共有の場づくり
・エリアプラットフォームを中心とした、エリアの関係者間で知見や情報の共有を行います。

Action 3 どんな時も 居心地よく・回遊しやすいエリア形成

- ①誰もが利用できる滞在空間（屋内・屋外）の設置
・人が歩いても良いと感じる距離※を意識した誰もが憩える高質な滞在空間を設置することで、滞在時間を増やします。
- ②滞在空間や周辺エリアとつなぐ移動手段の導入
・エリア内や周辺エリアとの移動をしやすくすることを目的としたモビリティ導入などにより、賑わいを広げます。

Action 4 沿道がつながる ブランディングされた一体的な街並み形成

- ①沿道建物などの一体的な街並み
・グランドレベルに開かれた魅力的なデザインと一体的な街並みを形成するため、利活用のルールづくりを検討していきます。
- ②エリアの求心力向上
・エリアの中心性を高める民間開発の誘導や老朽建物の更新、空きビル・空きテナント等の活用を推進するため、調査・検討を進めます。

※歩いても良いと感じる距離：国土交通省資料より、人間の距離評価は、心理的条件によって左右され、人によって感じ方は異なるが、歩行距離の限界や徒歩圏の大きさの目安が示されています。
人が歩いても良いと感じる距離：300m程度、目的地まで歩いても良いと感じる距離：500m程度、バスなどの代替手段が必要と感じる距離：600m以上

04

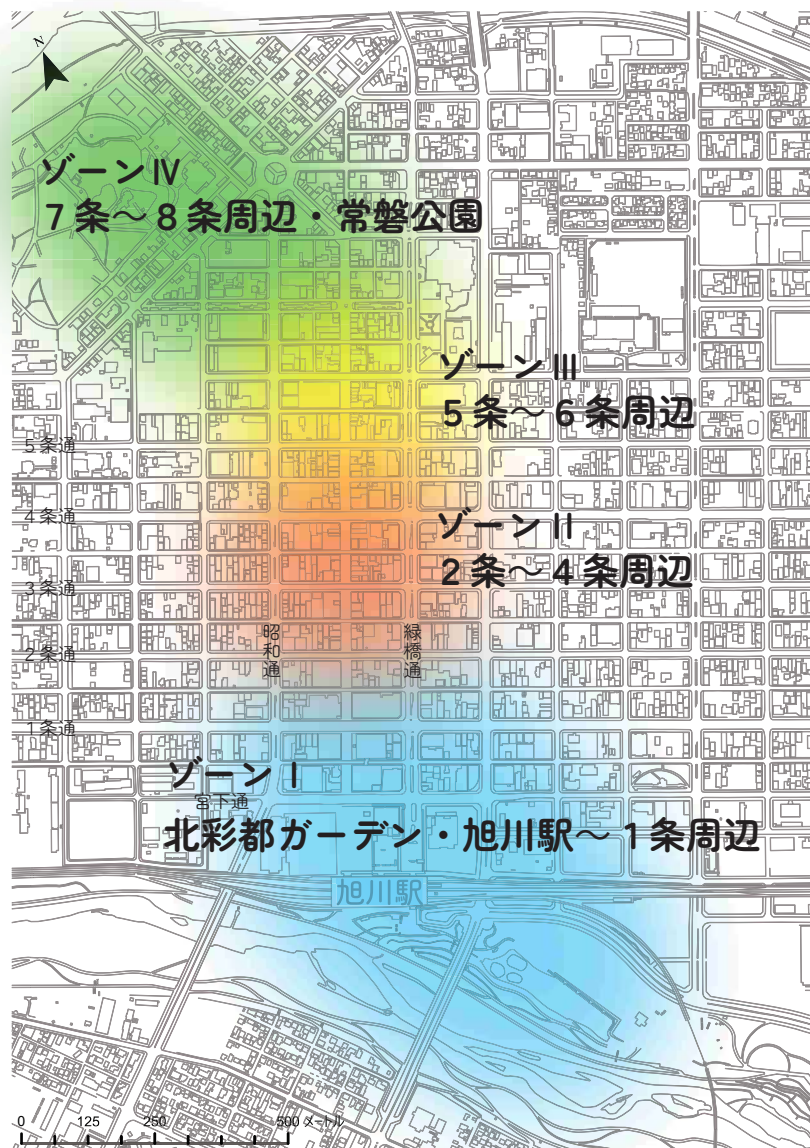
ゾーンごとの将来イメージ

将来像を実現するため、エリアの特性などから4つのゾーンに分けて、各ゾーンの目指す将来イメージについて、説明します。



特性・強みを持つ4つのゾーン

ゾーニング図



ゾーンⅠ

北彩都ガーデン・旭川駅～1条周辺

都会と自然が近接したエントランスゾーン

ゾーンⅡ

2条～4条周辺

懐かしさと新しさが共存するセンターゾーン

ゾーンⅢ

5条～6条周辺

食で惹きつける、可能性が広がるハートフルゾーン

ゾーンⅣ

7条～8条周辺・常磐公園

和やかな個性とみどりがあふれるカルチャーゾーン

04 ゾーンごとの将来イメージ



05

推進体制

ゾーン別の将来ビジョン

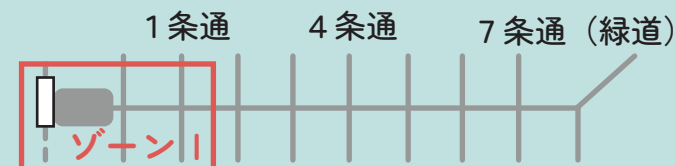
06

進め方
実現に向けた

ゾーンⅠ

北彩都ガーデン・旭川駅～1条周辺

都会と自然が近接したエントランスゾーン



特徴・強み



人が集まるまちの中心

交通結節点があり、公共交通を利用する観光客、通勤・通学する人、自家用車で来街者を迎えにくる人など色々な交通手段を利用する人が集まる
(駅・駅周辺・1条通など)



みんなに便利

都市機能が集積するエリアで、観光や出張で訪れる人や日用品を買物する人、子育て世代、周辺住民など全ての人にとって利便性が高い
(宿泊施設、大型商業施設、子育て関連施設 など)



駅直結の豊かな自然

駅直結で、忠別川河畔の豊かなみどりが広がり、都心部にいながら、旭川の雄大な自然を感じることができる
(北彩都ガーデンなど)

04 ゾーンごとの将来イメージ



05

推進体制

ゾーンⅠ

北彩都ガーデン・旭川駅～1条周辺

都会と自然が近接したエントランスゾーン

1条通

4条通

7条通（緑道）



ビジョン実現に向けて必要な機能

結節点に隣接した
憩える機能

快適な移動を支援
する機能

エリアの魅力を
発信する機能

店舗や建物が更新
されていく仕組み



ゾーンⅠの目指す将来ビジョン

- 買物公園の玄関口として、気軽に行き来できる
- 都市生活をしながら、豊かな自然も味わえる
- 観光客や買物客の誰もが憩える・くつろげる

※イメージ図



06

実現に向けた
進め方

04 ゾーンごとの将来イメージ



05

推進体制

ゾーン別の将来ビジョン

06

実現に向けた
進め方

ゾーンII

2条～4条周辺

懐かしさと新しさが共存するセンターゾーン

1条通

4条通

7条通（緑道）



特徴・強み



オフィスの立地

企業の支店などオフィスも多く、働く人が集まる（オフィスやテレワーク施設など）



繁華街の入口

多くの飲食店が軒を連ね、幅広い年齢層に楽しんでいる道北最大の繁華街に面している
（さんろく街など）



楽しめる店舗・施設

長く過ごせる飲食店やエンターテインメントが多く集まっている（カフェ、カラオケ、eスポーツの拠点など）



特色ある建物・彫刻

歩きながら楽しめるガラス張りやレトロな外観を持つ店舗や、広く愛される彫刻作品などがある（レンガ造りの建物やサキソフォン吹きと猫など）

04 ゾーンごとの将来イメージ

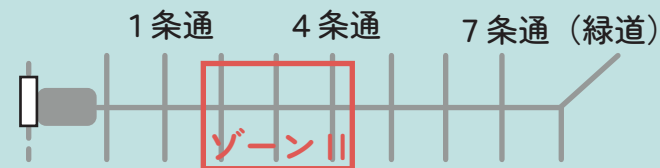
05

推進体制

ゾーンII

2条～4条周辺

懐かしさと新しさが共存するセンターゾーン



06

実現に向けた
進め方

ビジョン実現に向けて必要な機能

居心地よく
快適に滞在が
できる機能

気軽に滞在が
できる機能

特色ある
建物や空間が
活用できる機能



ゾーンIIの目指す将来ビジョン

- 特色ある建物・空間を使い、自由に活動できる
- 若者が気軽に立ち寄り、「何かやりたくなる」
- 働く人や飲食する人が、さらに居心地よく過ごせる

※イメージ図

04 ゾーンごとの将来イメージ



05

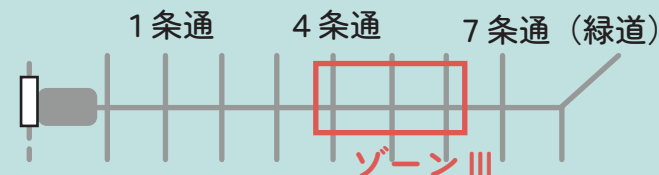
推進体制

ゾーン別の将来ビジョン

ゾーンⅢ

5条～6条周辺

食で惹きつける、可能性が広がるハートフルゾーン



特徴・強み



特色ある食のコンテンツ

ソウルフードを提供する飲食店、雰囲気のある小路や新たな出店を支援するお店など、食のコンテンツが充実（ふらりーと、旭川はれて屋台村など）



利用が見込める場所

大規模な駐車場や空き店舗・空き地が多く存在し、今後の利用が期待できる



情報発信・観光案内

観光案内や買物公園内の情報発信がされている（まちなか交流館など）

06

進め方
実現に向けた

04 ゾーンごとの将来イメージ



05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

ゾーンⅢ

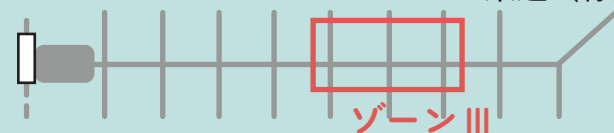
5条～6条周辺

食で惹きつける、可能性が広がるハートフルゾーン

1条通

4条通

7条通（緑道）



ゾーンⅢ

ビジョン実現に向けて必要な機能

飲食施設が
さらに快適に
なるような機能

広いスペースを
活用できる機能

親子で楽しみ
滞在できる機能



※イメージ図

04 ゾーンごとの将来イメージ



05

推進体制

ゾーン別の将来ビジョン

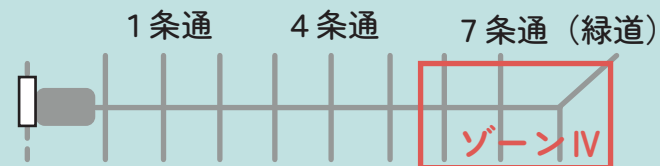
06

実現に向けた
進め方

ゾーンⅣ

7条～8条周辺・常磐公園

和やかな個性とみどりがあふれるカルチャーゾーン



特徴・強み



ローカルな店舗

ローカルな店舗や、市民に愛される噴水(手の噴水)などが並び、オリジナリティのある雰囲気が形成されている



まちなかの豊かなみどり

まちなかの貴重なみどりが7条緑道から常磐公園へと続く



文化的機能や多様な拠点

多くの人が集う文化の拠点をはじめ、文化的な機能が集まっているほか、市役所やシティホテルなど人が集まる施設も存在

04 ゾーンごとの将来イメージ



05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

ゾーンⅣ

7条～8条周辺・常磐公園

和やかな個性とみどりがあふれるカルチャーゾーン

1条通

4条通

7条通（緑道）



ビジョン実現に向けて必要な機能

豊かなみどりの
中で快適に
滞在できる機能

文化の拠点と
連携した滞在機能

個人店舗連なる
ゾーンで新規開業
できる仕組み

ゾーンⅣの目指す将来ビジョン

- 豊かなみどりを生かし、集まる人が一息つける
- 集まる人同士がつながり、文化的な活動を発信できる
- 密なコミュニティで、様々なチャレンジが起きている



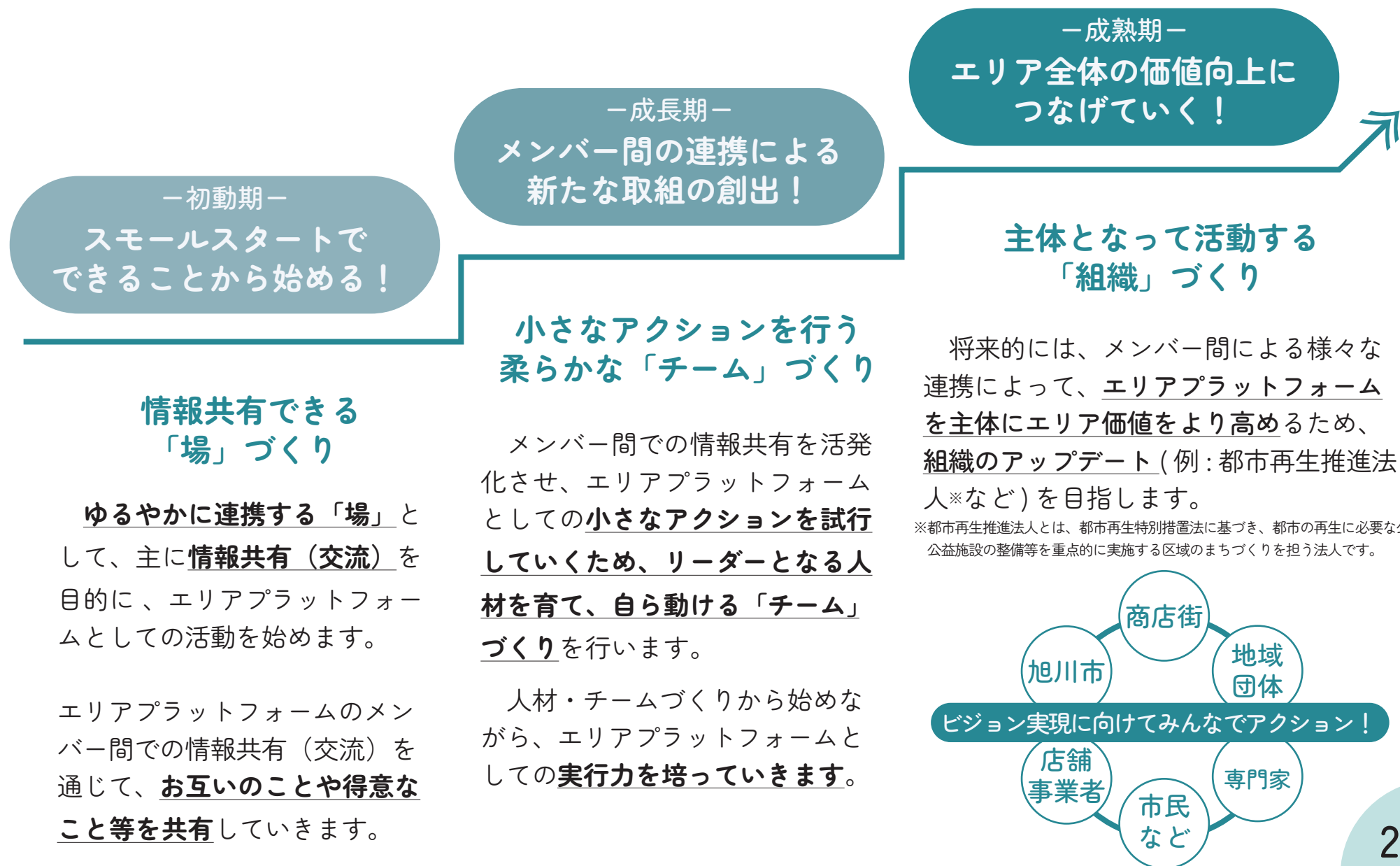
※イメージ図

05

推進体制

買物公園エリアの将来像や実現に向けた基本的な取組方針を進めていくため、買物公園エリアプラットフォームに関する3つの段階的な推進体制のイメージについて説明します。

将来像実現に向けた推進体制のイメージ



06

実現に向けた進め方

買物公園エリアプラットフォームに所属するメンバーと一緒に活動を進めていく人たちに期待する基本的な取組姿勢を示し、ビジョン実現に向けた進め方について、説明します。





将来像実現のための取組（活動）の基本的な取組姿勢



“じぶんごと”として、積極的に参加しよう！

- ・未来ビジョンの実現に向けて、自ら何か変えたい！
自分ならこんなことができる！という想いを持って参加しましょう！



同じ想いのメンバーたちとつながろう！

- ・未来ビジョンの実現に向けて、エリアプラットフォームには同じ想いや同じ悩みを持つメンバーが所属しているはずです。業種の立場や世代を超えたつながりをつくりましょう！



「今に、+αの価値」をみんなでつくりだそう！

- ・未来ビジョンの実現に向けて、自分の身の回りの取組に、一つ“買物公園エリアのために”を加えて、アジャイル※に実行してみましょう！

※アジャイル：状況の変化に対して素早く対応すること





未来ビジョン実現に向けた進め方



徐々にアップデート！

2024 年

未来ビジョンの策定、 買物公園エリアプラットフォームの組成

- ・未来ビジョンの策定（官民）
- ・買物公園エリアプラットフォームの組成（官民）
- ・未来ビジョン策定シンポジウムの開催（官民）

各主体の「取組」を共有、 買物公園での「新たな居場所づくり」を試行

- ・買物公園エリア社会実験の実施（官）
- ・社会実験への参画・協力（民）
- ・情報共有の場づくり（官民）

2025 年～

各主体がエリアプラットフォームを通じて、連携した取組を試行

- ・公共空間の利用申請手続きの簡素化の検討・実施（官）
- ・取組の主体的な試行（民）
- ・エリアの一体的な情報発信の検討（官民）

多様な主体がエリアプラットフォームに加入し、様々な取組・事業を展開

- ・民間の取組・事業を踏まえたまちづくりルールの検証（官）
- ・取組・事業の展開（官民）

20xx 年

多様な主体が連携して、楽しみながら多くの取組・事業に取り組んでいる！
誰もが居心地よく、歩きたくなるエリアへアップデートし続ける！

エリアプラットフォームのメンバー一覧



買物公園エリアプラットフォームの構成員（50音順）	
旭川家具工業協同組合	緑道ワークス
（一社）旭川観光コンベンション協会	買物公園エリアに関心を有する人たち
旭川商工会議所	買物公園エリアに高い識見を有する人たち
旭川信用金庫	旭川市（地域振興課・経済交流課・土木管理課）
旭川平和通買物公園企画委員会	
旭川平和通商店街振興組合	
旭川まちなかマネジメント協議会	
5・7小路ふらりーと中央市場組合	
三和・緑道商店会	
緑橋ビル商店街振興組合	